

# 公開シンポジウム

## 座間市でのSNSを介した自殺願望事件 ～いかに私たちは防げるでしょうか～

**基調講演:野田 正彰 氏(精神科医、評論家)**

パネリスト: 荘発盛氏(尚美学園大学准教授)

伊藤 みどり(関西生命線代表、ソーシャルワーカー)

司 会: 大塚 雅春氏(司法書士、フリーアナウンサー)

◆と き:2017年12月10日(日)PM1:30～4:40

◆ところ:大阪市弁天町<sup>オーク</sup>ORC200生涯学習センター  
大阪市港区弁天1-2-2-700  
(弁天町駅前オーク2番街7F)  
(地下鉄中央線弁天町駅・JR弁天町駅下車)

◆主 催:関西生命線  
(台湾語・北京語によるいのちの電話)

◆後 援:公益財団法人 大阪府国際交流財団(予定)  
大阪セントラルワイズメンズクラブ

◆参加費:1,200円(大学生・留学生800円) 中高生500円

◆定 員:100名(先着順)

◆申し込み、お問い合わせ:関西生命線事務所 ☎(06)6441-9595

# 座間市でのSNSを介した自殺願望事件

——— いかには防げるでしょうか ———

---

シンポジウムの開催にあたって

関西生命線代表 伊藤みどり

一番最初に公開シンポジウムを企画・実施したのは、神戸のA少年事件で、あっという間にもう20年になります。この間いくつかの公開シンポジウムを企画・実施したのは、「虐待」「いじめ」「原発」等等、あくまでも外国人かつソーシャルワーカーの立場としての視点からでございました。

「関西生命線」の活動は現在28年目になりますが、そろそろシンポジウムは終わりにしようと思っておりました。ところが、今回の「自殺願望事件」は9人まで死亡者が発生しました。まさに前代未聞の猟奇的な事件でございます。心より痛々しく、見過ごすことのできない心境でした。

そこで基調講演はいつも大変お世話になっている著名な野田正彰氏にお願いし、快くお引き受け頂きましたので、企画する決意に至りました。

開催にあたり、基調講演の野田正彰氏には「精神科医・評論家の立場」から、SNSを通じて社会全体背景を踏まえ、鋭い分析力でどこに問題があるかを提言して頂きます。

パネリストは「教育の立場」から現場の大学准教授の荘発盛氏で、大学では10代後半から20代前半の学生と毎日接触されていますので、SNSを使っている現状からその実態や経験に基づいて、いかに身の回りの危険を防げるかを提言して頂きます。

最後に、「ソーシャルワーカーの立場」で私から家庭は避難所でもあると考えておりますので、果たして日本社会の難しさの中でこの問題を防げるかについて問題提起をさせていただきます。

参加されるお一人お一人の方が主人公です。全体討論・質疑応答の時間を多く設けておりますので、活発なディスカッションを期待しております。年末で皆さまご多忙のことと存じます。一人でも多くの方々にご参加頂きますよう宜しくお願い申し上げます。

以上